

川崎市労働災害防止研究集会で3労組が表彰される 地域フォーラム 講演テーマは「パワーハラスメント」!

2024年10月24日(木)15:00より川崎市産業振興会館において「令和6年度川崎市労働災害防止研究集会」が開催され、110名が参加、そのうち川崎地域連合と川崎労福協合わせて81名が参加しました。



福田市長挨拶

この取り組みは川崎市内の各事業所での労働災害防止活動の推進と定着を図り、安心して働くことの出来る職場環境をつくる目的と「住みやすい」「働きやすい」まちの実現に向けて、行政機関・使用者団体・労働団体等が連携して企画・運営を担って開催しており、今回で60回目を迎えました。また、この集会では過去3年以上にわたり重大災害を起こしていない団体の功労者と功労団体を表彰しています。

今回、川崎地域連合として功労団体 不二サッシユニオン本社支部、川崎労福協として功労者 東芝労働組合R&D支部 小暮委員長、功労団体 JAM電元社トーア労働組合が表彰されました。



講演者 滝原准教授

さらに、この労災防研修集会は講演会と団体の事例発表会も行われています。

川崎地域連合は、この講演会を「地域フォーラム※1」と位置付けています。今回の講演会のテーマは「パワーハラスメントに関する主な裁判例の動向」として大東文化大学 滝原准教授の講義を聞きました。

※1地域フォーラムとは連合が目指す労働問題(労災防含む)などの解決に向けて、行政機関・使用者団体・労働団体等が連携して企画・運営をおこない、フォーラムという情報交換の場を設定すること。



不二サッシユニオン本社支部
榎執行委員長



東芝労働組合R&D支部
小暮執行委員長



JAM電元社トーア労働組合
中村中央執行委員長